

§語学批評§

生徒氏名       〇〇〇〇      

課題名       新・医療英語③      

《概評》

* 文法力	<b>A</b>	B	C	D
* 語彙力	A	<b>B</b>	C	D
* 構文把握力	<b>A</b>	B	C	D
* 読解力	<b>A</b>	B	C	D
* 和訳表現力	<b>A</b>	B	C	D
《総合評価》	<b>A</b>	B	C	D

**内容的にはむしろかしいのに、訳はよく出来ています。**  
本文中の赤を参照するとともに、解答例をご覧ください。

[1]は、完璧に和訳できていました。{2}は、内容が、どういう話かなじみにくいところがあります。

ちょっと意味が取れなかったように見えるのは、次のところなどです。

You sound+形容詞 は、You look+形容詞と同じです。  
ここで you sound like a normal, caring mother,  
の sound like～ は「～に似ている」とか、「～のようである」という表現です。  
そこで、a normal, caring mother,の normal も、caring も mother にかかる形容詞的な語句だとわかります。正常で、心配しがちなお母さん

Most doctors, therefore, do not react too strongly to brief variations from this level.  
も訳に工夫がいるかもしれません。

Brief というのは簡単などか、ちょっとしたという意味です。「この水準から少し離れてもあまり強く反応しすぎない」

また as well 同様に というような意味になる that is good advice for you as well  
「あなたにとっても(あなたのためにも)よいアドバイスにもなる」  
よくできています。

次の英文を全訳しなさい。

[1] Close your left eye and look around you. Provided your eyesight is good, you should not notice much difference. Now imagine if when you closed your left eye, you became blind to the left-hand side of the world around you. How would you feel if you could not see the food on the left-hand side of the plate?

Unfortunately many people experience this problem, not because of blindness but because a stroke\* damaged their brain. Both their eyes can 'see' but the left-hand side of the world has vanished from their mind's eye.

A stroke can have such a devastating effect. When a person suffers a stroke, part of the brain dies when its blood supply is lost, either because a blood vessel bursts or becomes blocked. Many other diseases can cause parts of the brain to die or to stop communicating normally. Brain damage can produce changes of personality, loss of memory, even of consciousness.

\* stroke : 脳卒中、脳出血

[2] You sound very much like a normal, caring mother, for many parents worry about elevated temperatures when they occur in their children. In this case, however I doubt there is cause for concern.

There is really no such thing as a "normal" temperature, for even in normal individuals it may vary as much as one or one and a half degrees in a 24-hour period, with the lowest reading being found during sleep and the highest temperature recorded during the late afternoon.

When fever is noted after a healthy workout or period of play it is not a cause of concern, especially when it subsides after a short period without medication. In that case, it is considered to be a normal variation in the constantly changing level of body temperature.

It may interest you to learn that the so-called "normal" body temperature of 37 degrees Celsius was determined by averaging the levels found in just a few individuals in a study conducted in the 19th century. Most doctors, therefore, do not react too strongly to brief variations from this level.

And that is good advice for you as well. In more serious cases, the temperature will be higher and last longer. It doesn't apply to your son's case.

\*問題文と一緒に解答をお送りください。

[1] ⇒ [1] の和訳はすべて合っているようです。

ただし **not because of blindness but because a stroke\* damaged their brain.**

は、直訳すれば、「失明が原因ではなく、脳卒中が脳を損傷したために」だと思います。

左目を閉じて、周りを見てください。

視界が良好ならば、それほど違いには気付かないはずです。

もし左目を閉じたとき、あなたの周りの世界の左手側が見えなくなっていたらと想像してみてください。

お皿の左手側にのっていた食べ物が見えなくなるとしたらどのように感じるでしょう？

不幸なことに、多くの人が失明によるものではなく、脳に損傷を与える脳卒中によってこの問題を経験する。

両目は「見えて」いるのに、世界の左手側が、心から消えてしまうのだ。

脳卒中は、このような混乱を招く結果を生む可能性がある。

脳卒中になると、血管破裂もしくは血管の流れがブロックされることにより、血液の供給が失われ、脳の一部が死ぬ。

他の多くの病気でも脳の一部が死んだり、正常に意思疎通をすることができなくなることがある。

脳の損傷は、人格の変化を招き、記憶や意識さえも失くしてしまうことがある。

[2]

【母親を診察すると、( ) 多くの親の心に子供が浮かぶとき、熱が上がっているか心配する。】 You sound+形容詞 は、You look+形容詞と同じです。

⇒【あなたは、正常で、よく世話する母親のようです。というのは、多くの親は、子どもに高熱が生じるとき、高熱を心配するからです。】この文 A, for+文 B は、「Aである。なぜなら B だからである」という意味です。For は、理由の文 B を導く接続詞です。

○とはいえこの場合は、私は、心配の根拠があるのか疑わしいと思う。

(平熱というものは存在しない。正常な人でさえ、睡眠時は最も低く、夕方は最も高い体温を記録するように、24時間のうちでも1もしくは1.5度変動することもある。)

⇒合っていると思います。ただし For の和訳が、できていない。

【「正常な」体温のようなものは、本当は、ない。というのは、正常な個体においてさえ、体温は、24時間の間に、1度や1.5度ぐらゐは変化し、睡眠中に最低になり、また午後遅くに最高の体温を記録するものだからである。】

○⇒

熱が、健康的なトレーニングや遊びの時間の後に記録されたとき、特に、薬を飲んでいないのに短時間で熱が下がるときは心配いらぬ。この場合、体温の定期的な正常な変化の範囲にある ばらつき(変動) であると考えられる。

○⇒

いわゆる摂氏37度の平熱というのは、19世紀に行われた研究で、数人の記録を平均して決められたものであると知ると興味深いかもしれない。

したがって、ほとんどの医者は、この水準からのちょっとした変動には—した変化の要点をかいつまむ程度で、あまり強く反応しない。

さて、よい忠告をしよう。⇒【それは、あなたのためのよいアドバイスでもある。】

○より深刻な場合、体温は上昇し、そして長く続く。

○あなたの息子には当てはまらない。

\*黄色部分：分からなかったり、自信がありません。⇒ほとんどできていました。

[1] 左目を閉じて周囲を見渡してみなさい。もしもあなたの視力に障害がなければ、ほとんど違いに気づかないだろう。では左目を閉じたら、周囲の世界の左手側のものが見えなくなると想像してみなさい。皿の左側にある食べ物が見えなかったら、あなたはどう感じるだろうか。

不幸にもたくさんの人々がこの問題を経験している。盲目のためではなく、脳卒中によって脳が損傷されるからだ。彼らは両目とも「見える」のだが、世界の左側は心の目から消えてしまったのである。

脳卒中はこうした破壊的な結果をもたらす。脳卒中になった場合、血管が破裂したり詰まったりすることによって血液の供給が止まると、脳の一部が死ぬ。この他、多くの病気によって脳の一部が死んだり、正常な情報伝達ができなくなったりする。脳の損傷は、人格の変化、記憶の喪失、意識の喪失をも引き起こすことがある。

[2] あなたは、ごく普通の心配性のお母さんのようです。というのは、多くの親は子供の体温が上がると心配するからです。しかしながら、あなたのお子さんの場合、心配する必要は無いと思われます。

実際に「正常」体温というようなものはないのです。普通の正常な人でさえも24時間の間に1度から1.5度も変化するからです。体温は眠っている間に最低になり、午後遅くに最高になるのです。

健康的な運動や遊び時間の後に熱があっても、薬無しで短時間に熱が下がった時などは特に心配する必要はありません。この場合は、絶えず変化している体温の通常の変化量と考えられます。

面白い話だと思いますが、いわゆる「正常」体温といわれる37°Cというのは、19世紀に行われた研究において、ごくわずかな人々の体温からその平均をとって決めたに過ぎません。ですから、このレベルからのわずかな変動に対しては、ほとんどの医者はそれほど強い反応を示しません。

そして、このことはあなたにとってもよい忠告です。心配しなければならぬ病状の場合、熱がもっと高く長く続くものです。あなたのお子さんの場合はそれにあてはまりません。